

最終回 市民ワークショップ

「私たちが考える、公共施設の将来像」

をテーマにグループ討論を行いました

全戸配布

1月13日（土）支所大会議室で、第4回の「信州新町地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論の後、まとめとなる意見発表を行いました。住民自治協議会の丸山会長のあいさつ、久保田総務部長から御礼のあいさつの後、参加者全員で記念撮影を行い、信州新町地区のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



信州新町中学校、篠ノ井高校犀峽校のグループも含め、地区の将来像を話し合い、公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。（詳細は次ページをご覧ください）

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。



今回のワークショップは、信州新町地区住民自治協議会のご協力をいただき、公募及び、地区内の各区からご参加いただいたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

信州新町支所 電話：262-2200



新町体育館

支所・公民館

小学校

中学校

信州新町の主な公共施設



犀川交流センター

さぎり荘

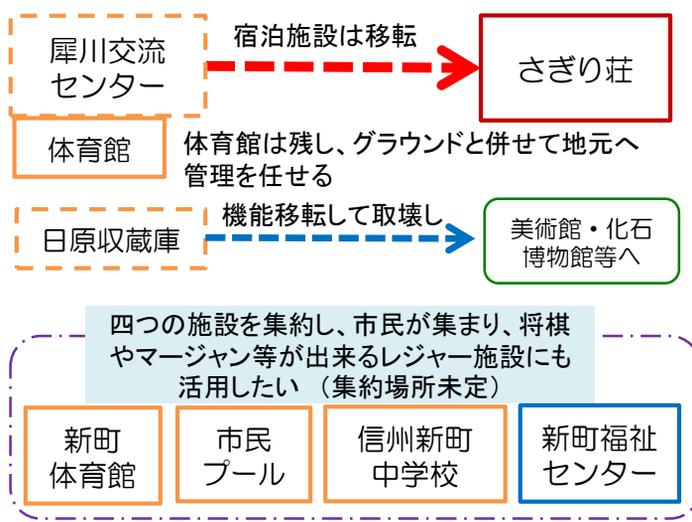
道の駅

新町福祉センター

各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

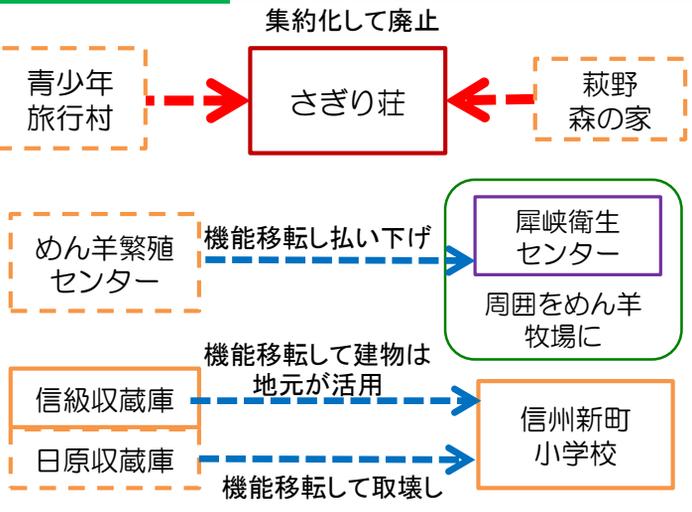
以下に、建物を移す案を で、機能を移す案を で、表しています

Aグループ コンセプト【遊休施設の使い道。高齢住民のいこいの場】



- 《効果》
- ・グラウンドにオートキャンプ場をつくれれば市外から集客できる
 - ・レジャー施設で人との交流ができ、高齢者が外に出るようになり、ほけ防止になる
- 《課題》
- ・今、地元で管理できても10年後には対応できなくなる可能性がある
 - ・高齢者の施設までの交通手段の確保。一人でも施設に行ける体制
- 《自分たちにできること》
- ・グラウンドの草刈りや立木・植栽の管理
 - ・交通手段の確保のため、乗り合わせの運転

Bグループ コンセプト【集約と連携】

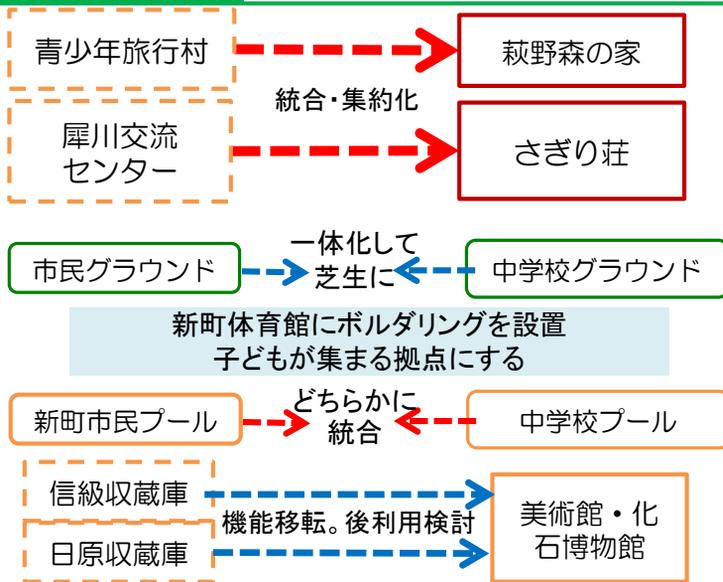


- 《効果》
- ・地域産業の活性化
 - ・めん羊牧場が、くめじ荘の近くに来ることで高齢者の働く場所ができる
 - ・高齢者の生きがいづくり
 - ・経費削減、合理化、住民サービス向上
- 《課題》
- ・廃止する施設にかかる地元の合意
 - ・高齢化社会における人口減少
- 《自分たちにできること》
- ・資金集め（クラウドファンディング等）
 - ・ボランティア活動



Cグループ

コンセプト 【住みやすい町～子どもファースト～】



《効果》

- 子どもたちが休日に、気兼ねなく集まれる場所（新町体育館周辺に）をつくる
- 健康増進になる

《課題》

- 芝生の管理
- 新町福祉センターは機能移転も考えたが防災拠点として必要

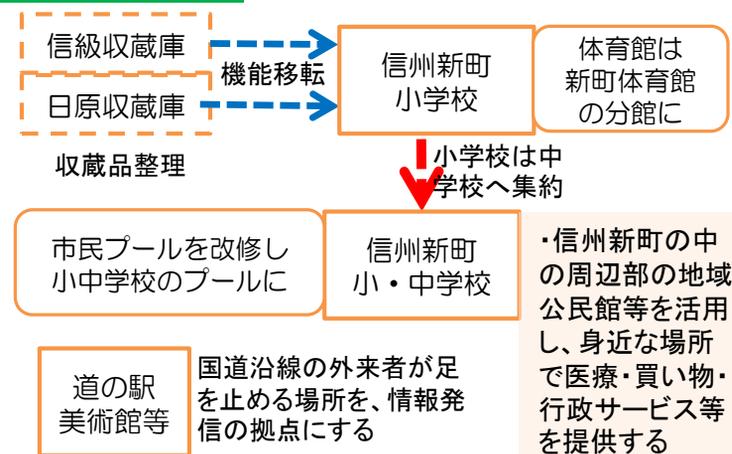
《自分たちにできること》

- グラウンド整備の手伝い
- スポーツ活動の指導や見守り（ボランティア）

・支所の市民ホールを有効活用する（寒くて、気軽に入りづらいので、カフェ機能などを設ける）

Dグループ

コンセプト 【中心と周辺】



《効果》

- 外来者に情報を提供できる

《課題》

- 周辺部と中心部をつなぐアクセス

《自分たちにできること》

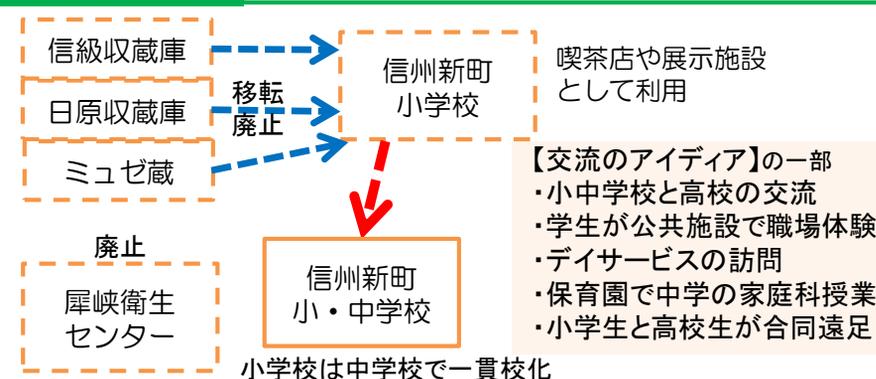
- SNSを利用した情報発信

《その他の意見》

- 美術館・博物館・記念館を集約化して空いた施設に地元食材を使ったレストランを誘致
- 大工・左官などの職人の技術を紹介する展示施設があると良い
- ホームページなど、インターネットによる情報発信を行う場所も公共施設

Eグループ

コンセプト 【『交流』が盛んなまち】



《効果》

- 小学校が交流の中心になる
- コスト削減

《課題》

- 交通手段
- 小学校は階段が多い

《自分たちにできること》

- 施設の清掃
- ボランティア活動



【住民自治協議会丸山会長のあいさつ】

ワークショップを開催して、改めて信州新町の姿を見ることができた。信州新町も高齢化が進んで人口も減少しているが、安心安全で暮らしやすい環境を作っていく必要がある。ワークショップの意見は行政に活かしていただきたい。

参加者アンケートの主な意見をご紹介します



住自協 丸山会長



久保田総務部長

【Aグループ】

- ◆いままで公共施設について本気で考えたことがなかったが、ワークショップに参加して公共施設に対する考え方が変わった
- ◆グループ討議の中で、自分の考えを出すことができた。これからは不安な施設がかなりあった

【Bグループ】

- ◆今まで仕事の関係で、新町に関することに参加できなかったのが、今回色々な意味で、大変良かった。グループ討議の意見集約の時間がもう少し必要だ
- ◆女性の意見も聞きたかった ◆住民参画の重要性について再認識した

【Cグループ】

- ◆自分が考えているより、認知度が低い施設が多いことに驚いた。色々な話が出来て有意義な時間であった ◆知らない施設のことがわかった
- ◆自分では必要ないと思っていた施設が、地元の地域の人たちに必要なものだった。改めて公共施設の統合は難しいと感じた
- ◆人口減少時代の中で、限られたものを有効に活用すべき

【Dグループ】

- ◆これから自分にできることは何か？考えて見ようと思った
- ◆自分の意見が十分に言えなかった。公共施設に対する考え方もあまり変わらなかった

【Eグループ】

- ◆自分の出身地にも同じことが言えるため、身近な問題として考える事が出来た
- ◆今までは全ての施設が必要なのだと思っていたが、必要のない施設も沢山あることを知ることができた ◆公共施設について考える良い機会になった
- ◆公共施設に大きなお金がかかっている、どんどんまとめていく方が良いということを知って考えるようになった ◆公共施設をもっと利用しようと思った

【見学の方からも意見をいただきました】

- ◆参加したメンバーが真剣に新町のことを考えていることが伝わってきた。自分は移住してきた者だが、自然や周囲の方の温かさに助けられている。実際に子育てしながら困ったこともあった。子どもとお年寄りが一緒に過ごせる施設があると良いと思った

【久保田総務部長から御礼のあいさつ】

四回に渡るワークショップで、熱心に討議をいただき、関係各位に心より御礼申し上げます。参加メンバーの皆さんは、これほど地元のこと、地域の施設のことを話し合う機会は無かったのではないのでしょうか。今回のワークショップの成果は今後生きてくると確信しています。

中心部の施設へ集約化して活性化させていく意見が多かったが、課題として交通の問題が出され、解決策として、医療や物販を出張させるといった意見もありました。

こういった様々な意見を、地域としても引き続き検討していただき、市としても、信州新町は勿論、オリンピック施設も含めた長野市全体の公共施設について検討してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

信州新町地区のワークショップ開催に御協力いただいた皆さまに、改めて厚くお礼申し上げます

